

50の政策の進捗よく状況

平成18年4月の市長選挙時に、安田市長が『日本の宝島・天草の創造』を天草市づくりの基本理念とするローカル・マニフェスト(地方政策宣言)を公表しました。この公表から2年を経過。市長の任期の折り返しにあたり、今回、ローカル・マニフェストに掲げられた50の政策の進捗よく状況についてお知らせします。

■ローカル・マニフェストとは

ローカル・マニフェスト(地方政策宣言)とは、都道府県知事や市町村長などの選挙のときに、候補者が有権者に対して発表する「公約」のことで、候補者と有権者との「契約」ともいえます。ローカル・マニフェストには、どのような政策を、いつまでに、どの財源を使って実現するか、ということなどがあらかじめ明記されており、すべての政策の達成状況

況などを評価・検証することが求められます。

■安田市長が公表したローカル・マニフェスト

平成18年4月の市長選挙時に、安田市長が公表したローカル・マニフェストは、次の7つのプロジェクトで構成されています。

- I・豊かな産業づくり
- II・魅力ある観光づくり
- III・暮らしやすい生活環境づくり
- IV・地域づくりと人づくり
- V・機能的な社会基盤づくり
- VI・環境にやさしいまちづくり
- VII・ローカル・マニフェストの実現のための行財政改革と財源確保

また、7つのプロジェクトごとに、「『集団営農組織』の拡充」「年間観光入込客数1,000万人の突破」「育児休業制度における財政支援」「地区振興会への職員の

配置」など、全部で50の政策が掲げられています。

■50の政策の進捗よく状況

ローカル・マニフェストに掲げられた50の政策の進捗よく状況を、進捗よく度別(II下表)に見ると、「完了・目標達成」が14政策、「前倒し・予定より早く進んでいる」が1政策、「順調」が21政策と、約7割の政策が目標達成または順調に進んでいます。

しかし、「遅延・事業縮小」が豊かな産業づくり(5政策)、魅力ある観光づくり(3政策)とそれぞれ半数以上あり、この2つのプロジェクトの取り組みが遅れています。

なお、各政策の進捗よく状況や進捗よく度などについての詳細は、17〜19ページをご覧ください。

※詳細は、本庁・企画課企画調整係 ☎1111内線1315へ。

◆50の政策の期限・進捗よく状況・進捗よく度

政策	期限	進捗よく状況	進捗よく度
I・豊かな産業づくり			
1 「集団営農組織」の拡充	4年	平成18年度に、天草市農作業受託組合等連絡協議会を設立しました。また、集団営農組織には機械購入に対する補助(平成18年度・2団体、平成19年度・6団体)などの支援をしています。	D
2 「ふるさと宅急便事業」の展開	1年	平成18年度に市内の加工グループを対象に、ふるさと宅急便事業の参加意向調査や打ち合わせ会議を実施(同事業には3グループが参加)。チラシを作成し、旧市町のふるさと会などに発送しました。	D
3 リースハウスの新設と5カ年計画の策定	4年	平成18年度に「あまくさ農業を元気にするリースハウス5カ年計画」を策定。同計画に基づき、リースハウスを建設しています(平成18年度・8カ所8棟、平成19年度・21カ所29棟)。	A
4 (仮称)『天草グリーンライフ・コミュニティ』の創出	4年	平成18年度にNPO法人グリーンライフあまくさを設立し、事業推進のための組織化を図りました。また、トラスト農場の整備(136a)や、シンポジウム(2回)・体験ツアー(6回)などを実施。	C
5 イノシシ解体処理施設の建設	4年	平成21年度からの解体処理施設建設に向け、イノシシ肉の販売方法・商品開発の検討や、天草保健所などの関係機関と協議を行っています。	C
6 つくり育てる漁業の定着	1年	平成18年度から天草漁協と連携して、稚魚や中間育成した幼魚などの放流事業を実施しています。	D
7 水産加工企業の誘致	4年	市内における水産加工業の実態把握や関係団体との協議を行っています。しかし、水産業の低迷などにより原料の確保が難しく、企業誘致は厳しい状況です。	D
8 消費生活相談専門員の配置	1年	平成18年8月、本庁(別館)・商工観光課内に消費生活相談員を配置しました。相談の受け付け(236件)や、研修会(13回)を実施しています。	A
9 有効求人倍率の上昇	10年	企業誘致促進条例を制定し、固定資産税の課税減免などを実施。また、地元事業者に対して、商工業設備投資資金利子補給などの事業を実施。*天草公共職業安定所の有効求人倍率=平成17年度・0.40倍、平成18年度・0.42倍。	D
II・魅力ある観光づくり			
10 年間観光入込客数1,000万人の突破	10年	従来からのイベントのほか、食を中心としたイベントなどを実施し、天草の情報発信を行いました。また、平成19年度は五足の靴関連事業の実施や、観光ボランティアの育成・活用などにより、誘客活動に取り組みしました。	D
11 九州新幹線的全線開通に向けた県内観光地の連携強化	4年	県内の横軸連携を図るため、平成18年10月に阿蘇・熊本・天草観光推進協議会を設立。ポスターなどの作成や、3地域の観光案内所に圏域のパンフレットを設置するなど、情報の発信・共有を図っています。	C
12 法人としての天草市観光協会の設立	1年	平成19年7月に「社団法人・天草宝島観光協会」を設立しました。	A
13 公設市場の開設	4年	平成19年度に作成した「本渡地区卸売市場整備構想」に基づき、老朽化している天草漁協・魚市場の整備と市民の台所づくりについて検討していきます。	D
14 (仮称)『天草物産館』の設置	2年	平成19年度に市が事業主体となり建設を予定していましたが断念し、現在は農協を事業主体として、平成20年度の農林水産物直売所建設に向けて取り組んでいます。	D
15 下田温泉の活性化と滞在型観光の促進	4年	平成18年度からまちづくり交付金事業で整備し、今年4月にオープンした下田温泉のふれあい館ぶらっつや温泉広場、五足の湯(足湯)、さくら公園などの利活用を図ります。	C
III・暮らしやすい生活環境づくり			
16 育児休業制度における財政支援	2年	国の制度である「中小企業子育て支援助成金制度」を活用していただけるよう、事業主に対して同制度の周知を図っていきます。	D
17 義務教育就学前までの医療費の全額助成	1年	平成18年度から、義務教育就学前までの乳幼児を対象に、医療費の一部負担額の全額を助成しています(受給者数1万859人、助成金見込み額3億7,312万円)。	A

※進捗よく度… A=完了・目標達成、B=前倒し・予定より早く進んでいる、C=順調、D=遅延・事業縮小、E=未着手

◆50の政策の進捗よく度別・政策数(平成20年3月31日現在)

進捗よく度	進捗よく度別の政策数					
	A 完了 目標達成	B 前倒し・予定より 早く進んでいる	C 順調	D 遅延 事業縮小	E 未着手	
	14	1	21	14	0	
プロジェクト別の内訳	I・豊かな産業づくり	2	0	2	5	0
	II・魅力ある観光づくり	1	0	2	3	0
	III・暮らしやすい生活環境づくり	5	0	2	3	0
	IV・地域づくりと人づくり	4	1	3	1	0
	V・機能的な社会基盤づくり	0	0	4	0	0
	VI・環境にやさしいまちづくり	2	0	2	0	0
	VII・ローカル・マニフェストの実現のための行財政改革と財源確保	0	0	6	2	0